

レジメンcode:	C35-55	備考
適応がん種:	非小細胞肺癌	
レジメン名:	Nivolumab+PEM+CBDCA(術前薬物療法)	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	オプジー ^ボ	360	mg/body	点滴(30分)	d1
PEM	ペメトレキセド(アリムタ)	500	mg/m ²	点滴(10分)	d1
CBDCA	カルボプラチ ^ン (パラプラチ ^ン)	5~6	AUC	点滴(1時間)	d1

*最大3サイクル投与。

ペメトレキセド(アリムタ)初回投与の1週間以上前～ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで連日投与

1) パンビタン 1 g/day
内服 朝食後

ペメトレキセド(アリムタ)1週間以上前～ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで9週ごとに1回

1) シアノコバラミン 1000 μ g 1 A
筋注

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食 50ml 1 本
ルート確保

2) オプジー^ボ 360 mg/body
生食 100ml 1 本
主管① 点滴 30分 インラインフィルター必須

3) 生食 50ml 1 本
主管② 点滴 15分 フラッシュ用

4) アロカリス 235mg 1 V
パロノセトロン 0.75mg 1 V
デキサート 3.3mg 1.5 A
生食 50ml 1 本
主管③ 点滴 30分

5) ペメトレキセド(アリムタ) 500 mg/m² 【ケモセーフ使用】
生食 100ml 1 本
主管④ 点滴 10分

6) カルボプラチ^ン(パラプラチ^ン) 5~6 AUC 【ケモセーフ使用】
生食 250ml 1 袋
主管⑤ 点滴 1時間

7) 生食 50ml 1 本
フラッシュ

〈所要時間 約3時間〉

次ページあり

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【ONO-4538-55/CheckMate816試験 N Engl J Med 2022;386:1973-1985 (PMID:35403841)】

【適応】

*非小細胞肺癌における術前補助療法

(対象患者: Stage II ~ III B(第9版)、EGFR遺伝子変異/ALK融合遺伝子陰性もしくは不明例)

*PD-L1発現の有無は問わない。

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回) (免疫チェックポイント2回目~)

*インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用する。(オプジーボ)

*投与時の総液量は体重30kg未満の患者には100mL以下とする。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連)対処アルゴリズムを参照する。